



ぱんだ組通信



第7号

(R8.2.1)

1月のねらい

- いろいろな正月遊びを楽しんだり、友達と相談や協力をしながら遊びを進めたりする。
- 自分なりの目標をもってくり返し取り組み、試したり工夫したりして遊ぶ。
- 冬の自然に興味や関心をもち、遊びに取り入れたり、季節の行事を楽しんだりする。



昨年12月のことになりますが、みんなの「園長室でお夙を食べてみたい！」という希望が叶いました。少し背の高いテーブルで、特別な椅子に座り、みんなでクリスマス給食をいただきました。「メリーちゃんも一緒に食べようよ。」との声も上がり、特別気分でいただきました。終わりに園長先生から絵本を読んでいただき、素敵なお時間を過ごしました。



新しい年を迎える、早1ヶ月。お正月の遊びが盛り上がっています。自分達で凧糸を結んだり竹ひごをつけたりして作った凧は、風に吹かれてよく上がってきました。また、すごろくでは、1回休み、のところで寝る真似をしたり、かるた取りではチームに分かれて対抗戦（担任対子ども達の時もあります！）で勝負したりと、楽しんでいます。



市役所文化課の松田さんによる椿油作りの様子です。これまで園庭の椿の実から油が取れることを知って、すりこぎで細かく砕き、薄っすら出てくる油を髪の毛につけたりしていた子ども達でしたが、この日は細かく砕いたたくさんの実を煮だし、上澄みをすくって煮りだし、油を取りました。煮だした時、煮り出した時の香りや色の変化を感じることができました。あんなにたくさんあった実が、油にするところに少なくなるなんて！たくさんのおかげで、学びがありました。松田さん、ありがとうございました。



篠原先生による運動遊び教室では、「怖くてできない」と言う子も、先生の手にかかると「もっとやりたい！」に変わっていきます。今回は3点倒立や鉄棒、跳び箱に挑戦しました。先生の支えがあると安心して取り組めるみんな。この意欲を継続させていきたいと思います。

